

2024年3月期 第3四半期決算説明資料

高千穂交易株式会社(証券コード:2676)

2024年2月6日

目次

1. エグゼクティブサマリー
2. 2024年3月期 第3四半期(累計)決算
3. 2024年3月期 通期見通し
4. Appendix

【参考資料】中期経営計画 2022 - 2024

https://www.takachiho-kk.co.jp/pdf/plan_pdf/plan2022-2024.pdf

目次

1. エグゼクティブサマリー
2. 2024年3月期 第3四半期(累計)決算
3. 2024年3月期 通期見通し
4. Appendix

■ 2024年3月期 第3四半期(累計) <実績>

前年同期比で増収増益。主なポイントは以下3点。

- ① エレクトロニクス(デバイス):受注残の順調な納入に加え、新規代理店契約の効果で大幅増収(+)
- ② クラウドサービス(クラウドサービス&サポート):MSPサービスのライセンス数積み上げ、その他クラウドサービスの種類拡充により、サブスク収入が増加(+)
- ③ 上記に加え、政策保有株の売却益を計上したことにより、当期純利益は前年同期比+198百万円

■ 2024年3月期 通期 <計画>

- ・ 通期見通しは従来計画を据え置き、年間配当金は**137円**(期末配当金は**84円**)を予定
- ・ 営業利益については、システムセグメントで4Qに予定している大型案件の計上等で挽回を目指す

	2023年3月期 3Q累計実績	2024年3月期 3Q累計実績	増減	2024年3月期 通期計画	進捗率
売上高	16,934	18,960	+2,025	24,800	76.5%
営業利益	930	980	+49	1,620	60.5%
経常利益	1,173	1,267	+93	1,600	79.2%
当期純利益	823	1,021	+198	1,249	81.8%

目次

1. エグゼクティブサマリー
2. 2024年3月期 第3四半期(累計)決算
3. 2024年3月期 通期見通し
4. Appendix

連結業績ハイライト

[単位:百万円]

- ・ エレクトロニクス事業が業績をけん引し、前年同期比で**増収増益**
- ・ 防火システム事業で一過性費用を計上したことが影響し、売上総利益率は同**▲1.8pt**
- ・ 為替差益と投資有価証券売却益の計上も寄与し、**当期純利益は計画に対して順調に進捗**

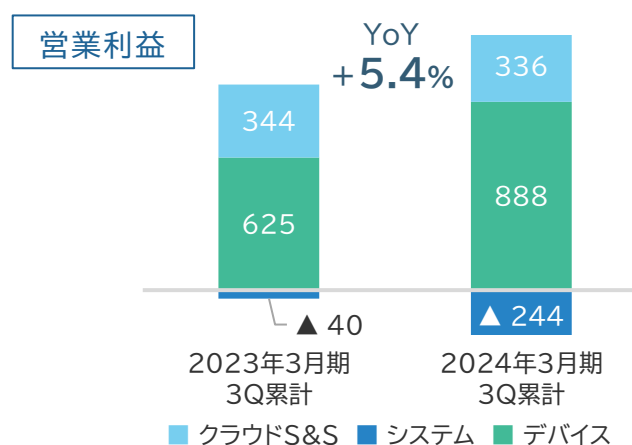
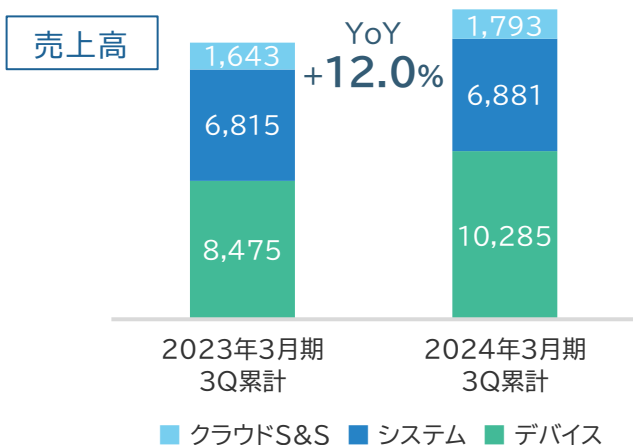
	2023年3月期 3Q累計実績	2024年3月期 3Q累計実績	前年同期比	2024年3月期 通期計画	進捗率
売上高	16,934	18,960	+12.0%	24,800	76.5%
売上総利益	4,208	4,382	+4.1%	6,210	70.6%
売上総利益率(%)	24.9%	23.1%	▲1.8pt	25.0%	—
販管費	3,278	3,402	+3.8%	4,590	—
営業利益	930	980	+5.4%	1,620	60.5%
営業利益率(%)	5.5%	5.2%	▲0.3pt	6.5%	—
為替差益	193	206	+7.0%	—	—
経常利益	1,173	1,267	+8.0%	1,600	79.2%
経常利益率(%)	6.9%	6.7%	▲0.2pt	6.5%	—
税引前利益	1,162	1,548	+33.1%	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	823	1,021	+24.1%	1,249	81.8%
EPS	92.05円	112.66円	+20.61円	137.69円	—

セグメント別業績

[単位:百万円]

防火システム事業の追加工事費用(*現時点の想定コストは全て引当済)でシステムは減益となるが、デバイスのエレクトロニクス事業の好調により、連結合計で増収増益

		2023年3月期 3Q累計実績	2024年3月期 3Q累計実績	増減額	増減率	2024年3月期 計画	進捗率
クラウドサービス &サポート	売上高	1,643	1,793	+149	+9.1%	2,800	64.1%
	営業利益	344	336	▲8	▲2.5%	600	56.1%
	営業利益率	21.0%	18.8%	▲2.2pt	—	21.4%	—
システム	売上高	6,815	6,881	+66	+1.0%	9,800	70.2%
	営業利益	▲40	▲244	▲204	—	160	—
	営業利益率	▲0.6%	▲3.6%	▲3.0pt	—	1.6%	—
デバイス	売上高	8,475	10,285	+1,810	+21.4%	12,200	84.3%
	営業利益	625	888	+262	+42.0%	860	103.3%
	営業利益率	7.4%	8.6%	+1.2pt	—	7.0%	—
連結合計	売上高	16,934	18,960	+2,025	+12.0%	24,800	76.5%
	営業利益	930	980	+49	+5.4%	1,620	60.5%
	営業利益率	5.5%	5.2%	▲0.3pt	—	6.5%	—

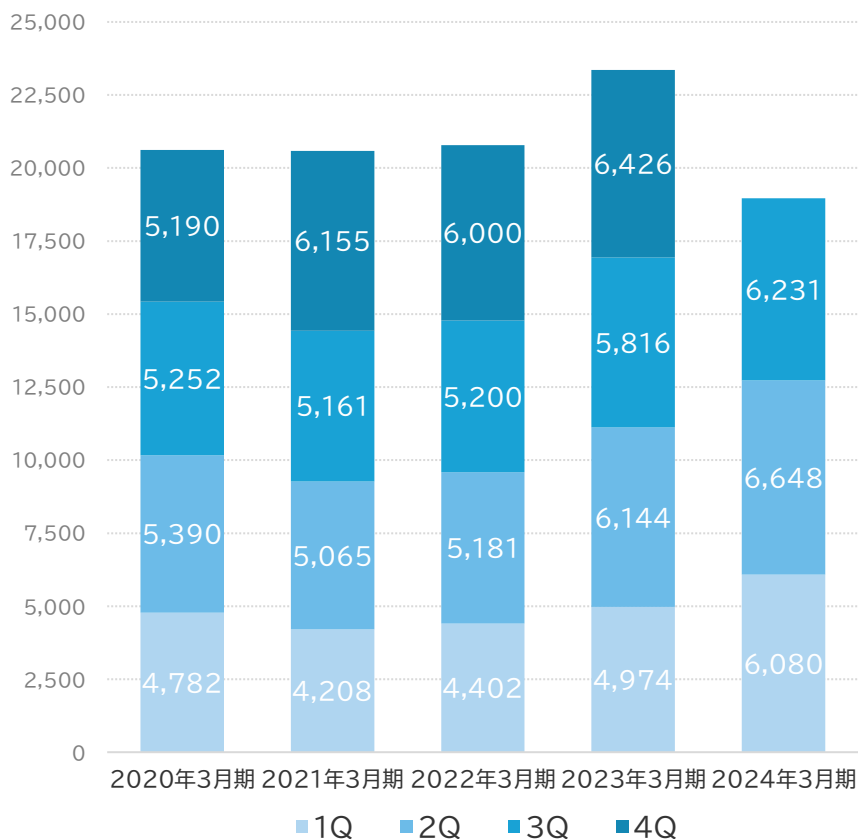


四半期別業績推移

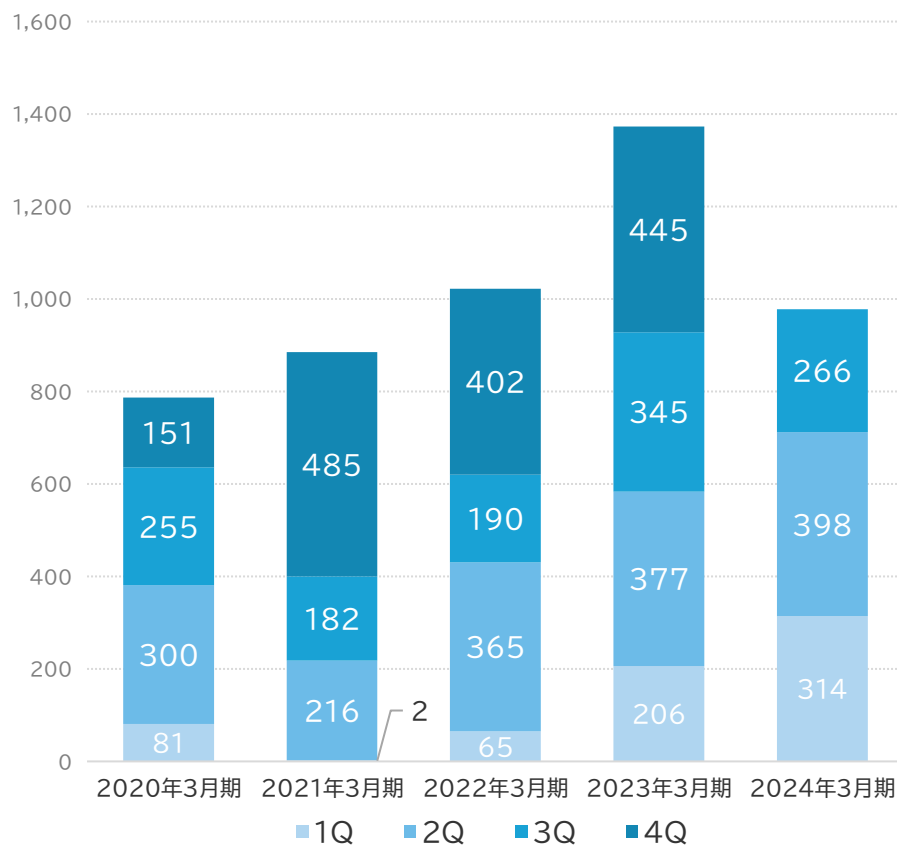
[単位:百万円]

主にシステム製品は設備投資の対象であることが多く、顧客の投資時期に伴い4Q・2Q偏重の傾向

四半期別売上高



四半期別営業利益

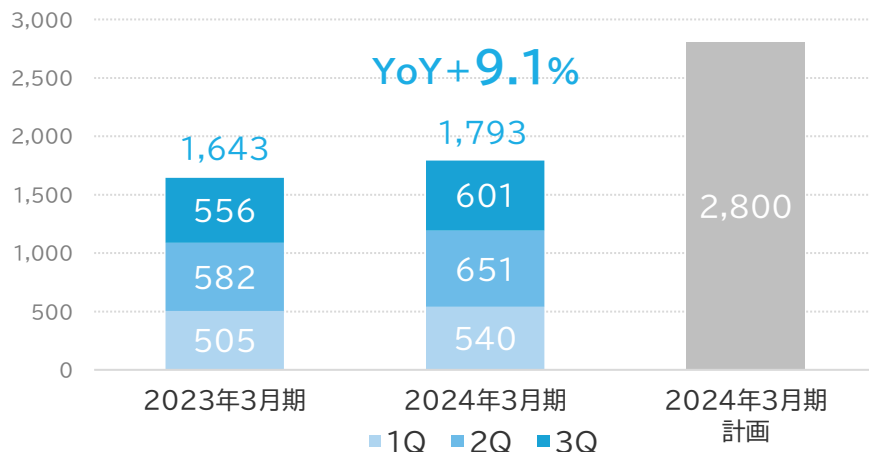


クラウドサービス & サポート業績

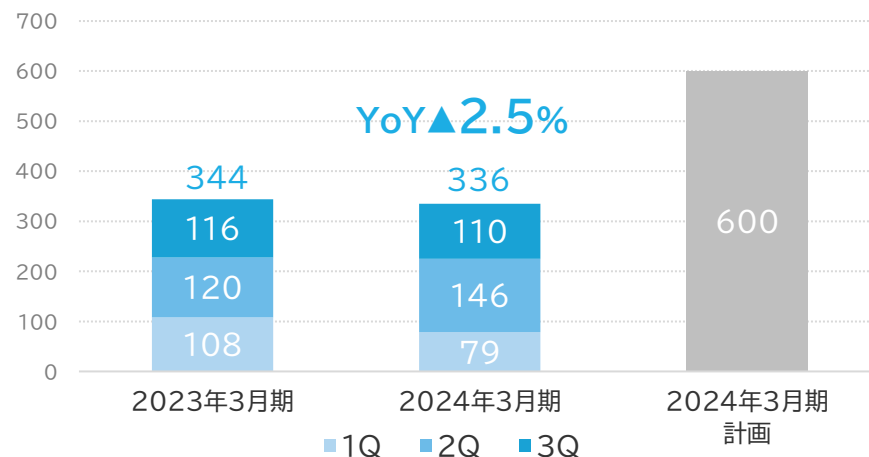
[単位:百万円]

- MSPサービスのライセンス数積み上げ、その他クラウドサービス種類拡充により、サブスク収入が増加(+)
- データセンター・外資系企業オフィス向け入退室管理システムの保守収入が増加(+)
- メーリングシステム保守部品の仕入コスト増、在庫評価損の計上が利益を押し下げ(△)

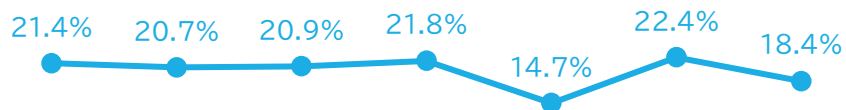
売上高



営業利益



営業利益率



23.3期1Q 23.3期2Q 23.3期3Q 23.3期4Q 24.3期1Q 24.3期2Q 24.3期3Q

期間

増減要因(前年同期比)

- | | |
|------------------------|---|
| 1Q 4-6月
YoY▲6.7pt | <ul style="list-style-type: none"> ・ メーリングシステム保守部品の仕入コスト増(△) ・ メーリングシステムの売上振替(*)減少(△) |
| 2Q 7-9月
YoY+1.7pt | <ul style="list-style-type: none"> ・ その他クラウド、入退室管理システム保守収入増加(+) ・ MSPサービスSPOT収入減少(△) |
| 3Q 10-12月
YoY▲2.5pt | <ul style="list-style-type: none"> ・ メーリングシステム保守部品の仕入コスト増(△) ・ メーリングシステム保守部品の在庫評価損計上(△) |

(*)システムセグメント製品の販売初年度の保守を無償で実施している分について、保守原価相当分をクラウドサービス&サポートの売上に振替

MSPサービスの契約状況

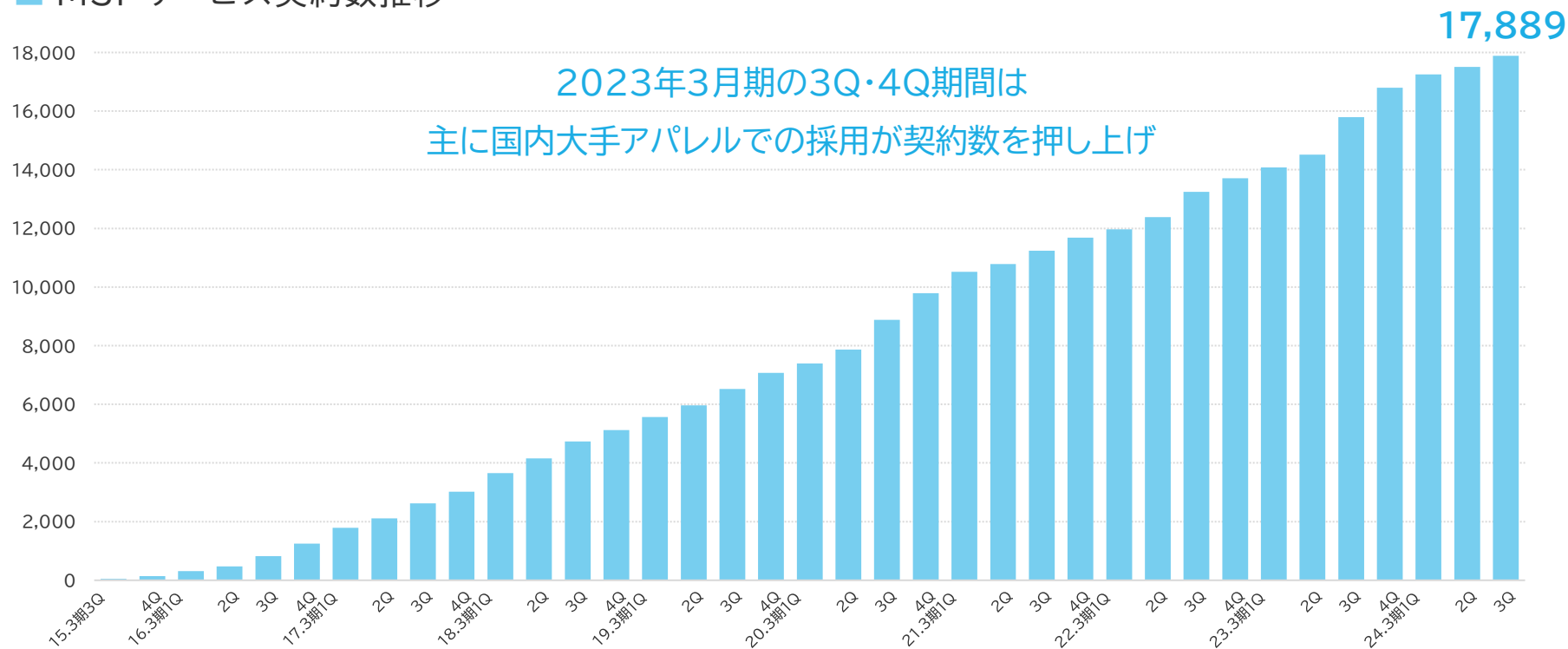
MSPサービスKPI

契約数
2023年12月末
17,889ライセンス

新規契約数
2023年4月～12月
2,124ライセンス

月次解約率(※)
2023年4月～12月
0.51%

MSPサービス契約数推移

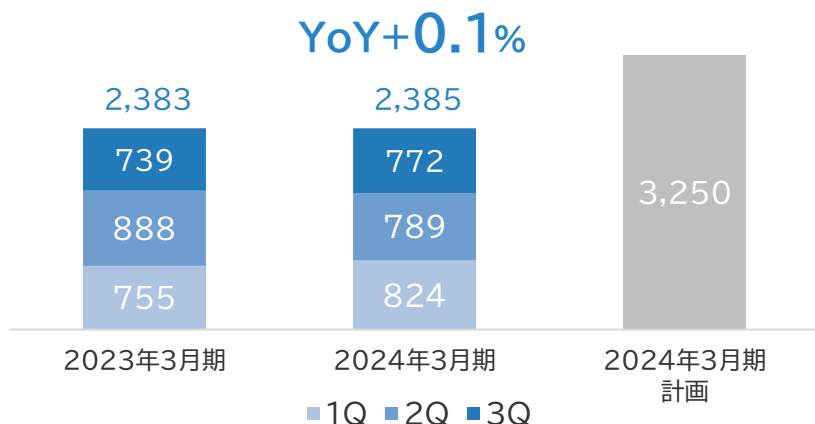


(※)月次解約率:1ヶ月の契約解約数÷前月末の累計契約数

システム売上高(サブセグメント別)

[単位:百万円]

リテールソリューション



リテールソリューション

- **アパレル**向けにRFIDを応用した商品管理ソリューション、セキュリティシステムの売上が伸長(+)
- **ドラッグストア**向け商品監視システムの売上が伸長(+)
- **家電**向け商品監視システム案件で投資時期が一部先送り(△)

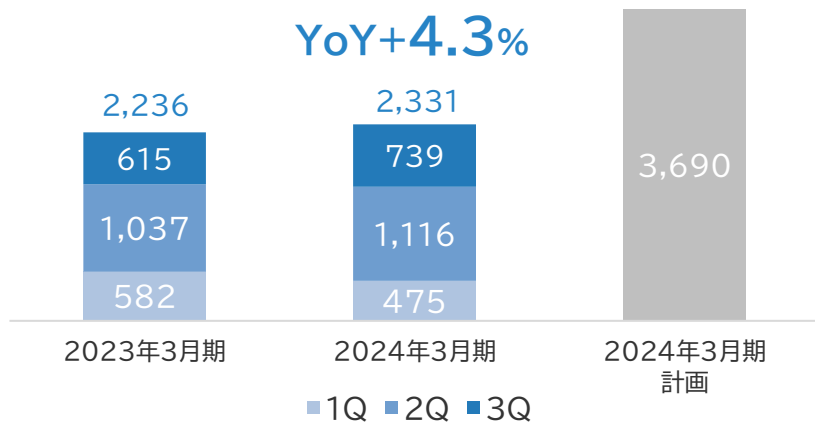
ビジネスソリューション

- 1Qから調達が遅れていた**メーリングシステム**の納品が完了(+)
- 外資オフィス、データセンター向け**入退室管理システム**等が伸長(+)

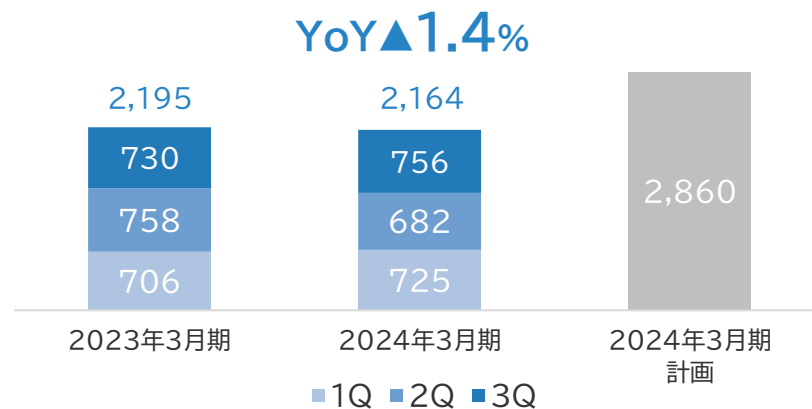
グローバル

- タイの発電所建設計画が遅延し、**防火システム**が減収(△)
- タイの**アパレル**向けセキュリティシステムの売上が伸長(+)
- 海外子会社の**円換算収益**がプラスに影響(+)

ビジネスソリューション



グローバル



デバイス売上高(サブセグメント別)

[単位:百万円]

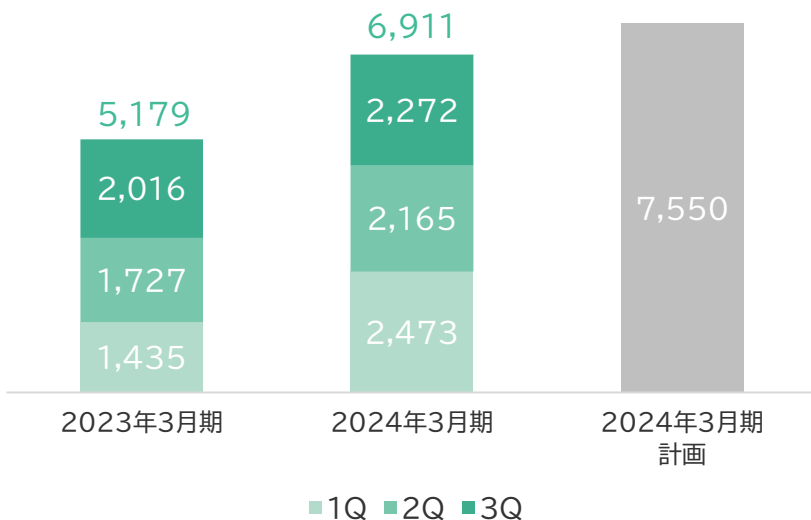
エレクトロニクス

- 前期末の受注残の納入が順調に進み、主に産業機器や電源モジュール向けの売上が伸長(+)
- 2023年3月期の3Qから業績に貢献している新規代理店契約(*)により売上規模が拡大(+)
- 商材拡充や顧客密着戦略が奏功し、新規採用が増加
主に民生機器やアミューズメント、プリンター等のビジネス機器向けの売上が伸長(+)

メカトロニクス

- 2024年7月の新紙幣改刷の需要を取り込み、金銭機器向け機構部品の売上が伸長(+)
- 新商材「スパイラルシャフト」等の直動製品がスマート遊技機に採用されたことにより、アミューズメント向けの売上が伸長(+)
- 米国住宅設備向けソフトクローズ部品の売上が減少(△)

YoY+33.4%



YoY+2.4%

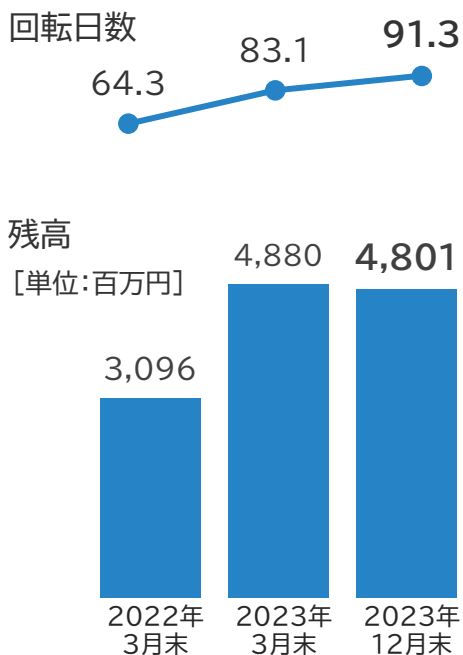


(*)ヌヴォトンテクノロジー株式会社との代理店契約。詳細は2021年7月26日の[プレスリリース](#)をご参照ください。

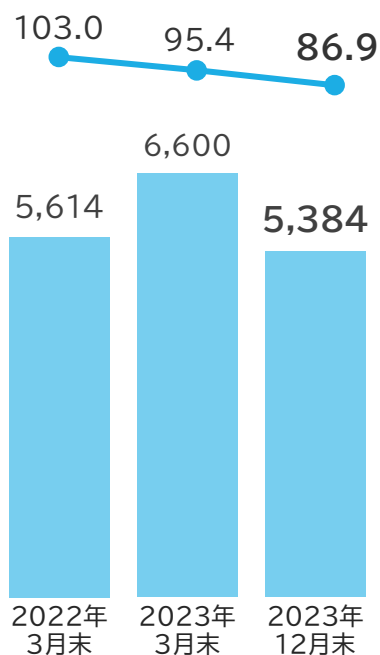
資本効率改善状況

半導体・電子部品の納品は順調に進んだが、4Q売上予定のシステム等の在庫が一時的に増加
適正水準まで抑えるべく、引き続き受注残納入と発注コントロール強化を推進

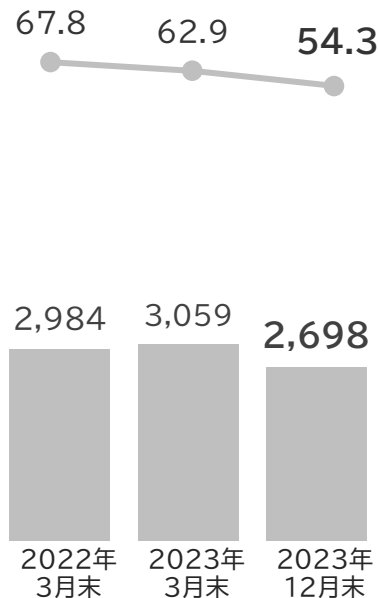
棚卸資産



売上債権



仕入債務



2023年3月末 棚卸資産増加理由

- ① 半導体・電子部品の調達が進む
- ② 顧客の先行発注が増加
- ③ サプライチェーン混乱下での安定供給を重視

[計算式]

- ・ 棚卸資産回転日数 = 棚卸資産(期首・期末の平均残高) ÷ 売上原価 × 日数
- ・ 売上債権回転日数 = 売上債権(期首・期末の平均残高) ÷ 売上高 × 日数
※売上債権 = 売掛金 + 受取手形 + 契約資産 + 電子記録債権 ▲ 契約負債(前受金)
- ・ 仕入債務回転日数 = 仕入債務(期首・期末の平均残高) ÷ 売上原価 × 日数
- ・ 日数…3月末は365日で計算、12月末は275日で計算

目次

1. エグゼクティブサマリー
2. 2024年3月期 第3四半期(累計)決算
3. 2024年3月期 通期見通し
4. Appendix

連結PL<計画>

[単位:百万円]

エレクトロニクス事業の受注残の納入、クラウドサービスの成長に注力し、増収増益を計画

	2023年3月期 実績	2024年3月期 計画	増減額	前期比	中計最終年度 2025年3月期計画
売上高	23,360	24,800	+1,439	+6.2%	26,000
売上総利益	5,838	6,210	+371	+6.4%	—
売上総利益率(%)	25.0%	25.0%	—	+0.0pt	—
販管費	4,461	4,590	+128	+2.9%	—
営業利益	1,376	1,620	+243	+17.7%	2,050
営業利益率(%)	5.9%	6.5%	—	+0.6pt	7.9%
経常利益	1,588	1,600	+11	+0.7%	2,000
経常利益率(%)	6.8%	6.5%	—	▲0.3pt	7.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,205	1,249	+43	+3.6%	1,400
ROE(%)	7.7%	7.7%	—	+0.0pt	10.0%(目標) 8.0%(必達)
EPS	134.69円	137.69円	+3円	—	—
1株当たり年間配当金(*)	133円	137円	+4円	—	—

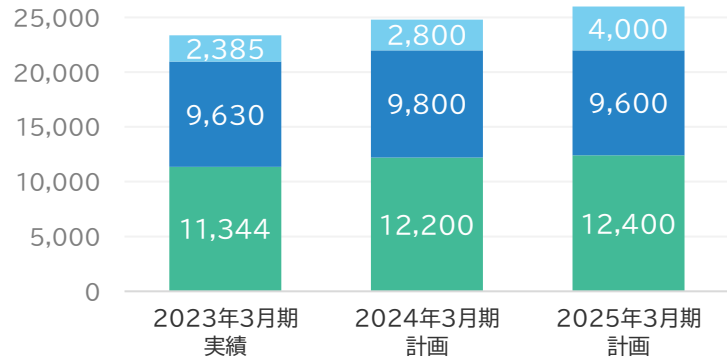
(*)1株当たり年間配当金:配当性向100%の方針に則り、当期純利益全額を期末株式数で除して計算(EPSは当期純利益を期中平均株式数で除して計算)

セグメント別 売上高・営業利益<計画>

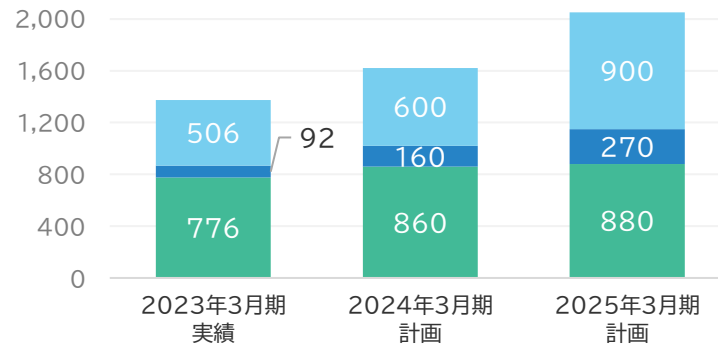
[単位:百万円]

		2023年3月期 実績	2024年3月期 計画	増減額	増減率	2025年3月期 計画(*)
クラウドサービス &サポート	売上高	2,385	2,800	+414	+17.4%	4,000
	営業利益	506	600	+93	+18.4%	900
	営業利益率	21.2%	21.4%	+0.2pt	-	22.5%
システム	売上高	9,630	9,800	+169	+1.8%	9,600
	営業利益	92	160	+67	+72.5%	270
	営業利益率	1.0%	1.6%	+0.6pt	-	2.8%
デバイス	売上高	11,344	12,200	+855	+7.5%	12,400
	営業利益	776	860	+83	+10.7%	880
	営業利益率	6.8%	7.0%	+0.2pt	-	7.1%
連結合計	売上高	23,360	24,800	+1,439	+6.2%	26,000
	営業利益	1,376	1,620	+243	+17.7%	2,050
	営業利益率	5.9%	6.5%	+0.6pt	-	7.9%

売上高



営業利益



(*) 2025年3月期のセグメント目標の内訳を修正しています。詳細は「[2023年3月期決算説明資料](#)」(P.5)をご覧ください。

株主還元

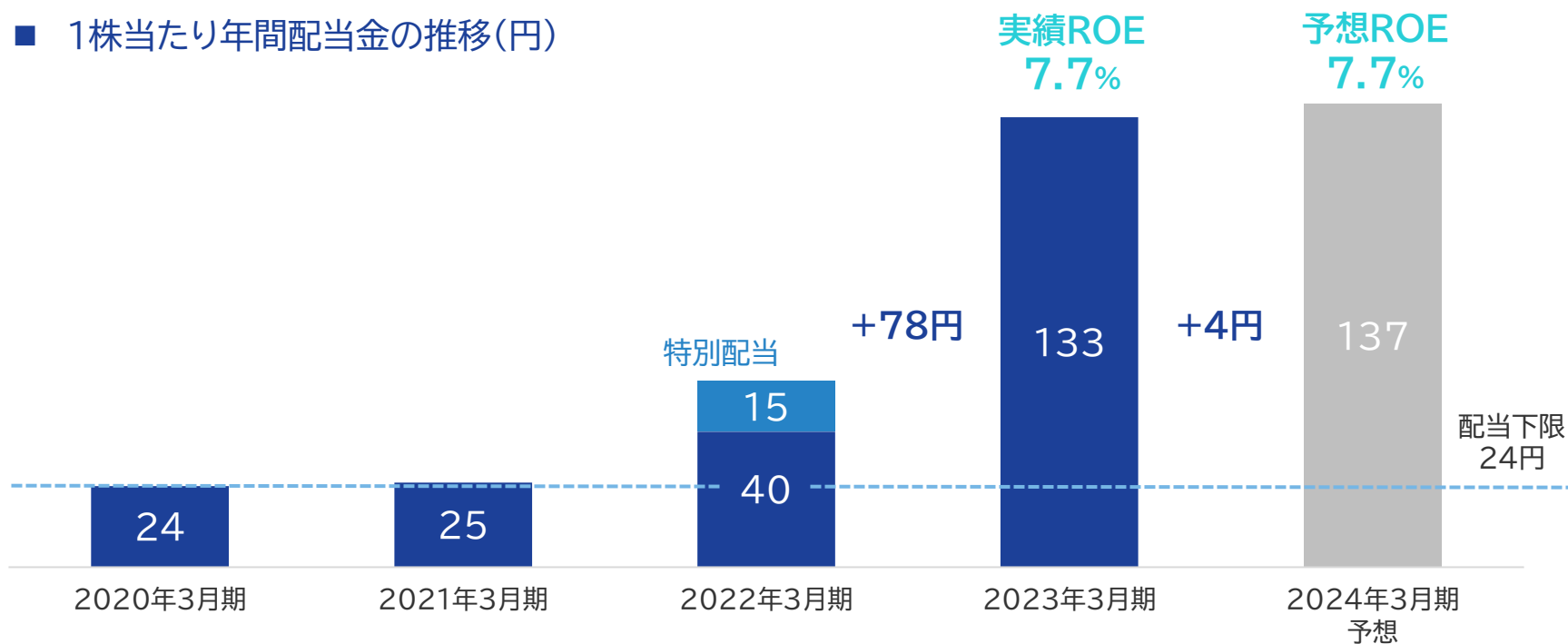
2024年3月期は年間**137円**(中間53円・期末84円)を予定

中期経営計画2022-2024における還元方針

自己資本を積み増さない積極的な株主還元を企図し、ROE3期平均(*)8%を達成するまで、配当性向100%を維持

ROE3期平均8%達成まで
配当性向100%

■ 1株当たり年間配当金の推移(円)



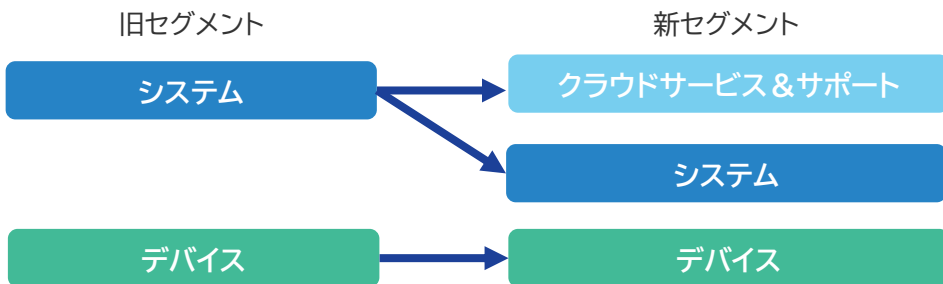
(*)「3期平均」: 中期経営計画初年度である2023年3月期以降の直近3期分の平均

目次

1. エグゼクティブサマリー
2. 2024年3月期 第3四半期(累計)決算
3. 2024年3月期 通期見通し
4. Appendix

セグメントと主なプロダクト・サービス

■ セグメントの体系



中期経営計画期間(2023年3月期)より、「成長性」と「収益性」の観点から、クラウド型のサブスクリプション型サービスビジネス、保守事業を『成長事業』として位置づけ、セグメントとして切り分けます

※ システムセグメントの「サービス&サポート」商品類を「クラウドサービス&サポート」に名称変更し、新たにセグメント化

クラウドサービス&サポート



クラウド型無線LAN

クラウドサービス

- 「機器・クラウドサービス・運用管理」が一体となったMSP等のサービス

保守

- システムセグメント内の商品の保守サービス

システム



入退室管理システム

顔認証システム

リテール

- 商品監視(万引き防止)システム
- 監視カメラシステム、顔認証システム
- ストアマネジメントシステム・RFIDシステム
- ディスプレイセキュリティシステム

ビジネス

- 入退室管理システム、監視カメラシステム
- メーリングシステム
- RFIDシステム・ネットワーク製品

グローバル

- 防火システム

デバイス



電源モジュール

シリコンマイク

ソフトクローズ

エレクトロニクス

- 半導体・IC / 電子部品・センサ
- 各種モジュール

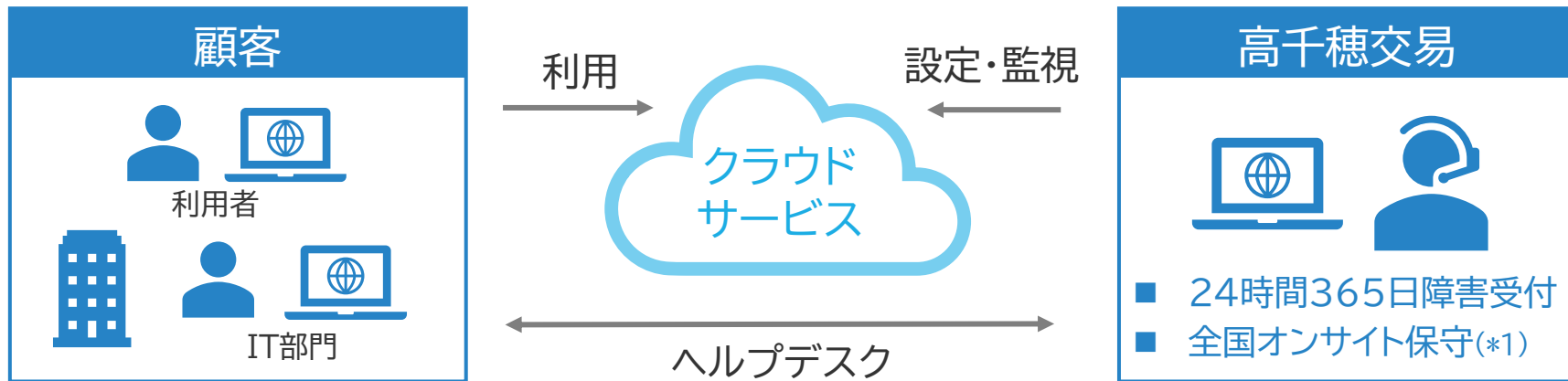
メカトロニクス

- スライドレール / ガススプリング
- ソフトクローズユニット / 電子錠

MSPサービス概要(1)

MSP (Managed Service Provider) サービスとは

クラウドネットワーク製品の保守運用・稼働監視業務をアウトソーシングできるサービス



MSPサービス対象製品



『クラウド型無線LANシステム』とは？

無線LANアクセスポイントを
クラウド上で管理

- ✓ クラウド上で利用状況を可視化
- ✓ 導入や故障時の対応が簡単・早い
- ✓ 設定・監視のアウトソーシングが可能

MSPサービス料金形態

①～③を一体型のサービスとして
月額払いで提供(*2)

① 機器代

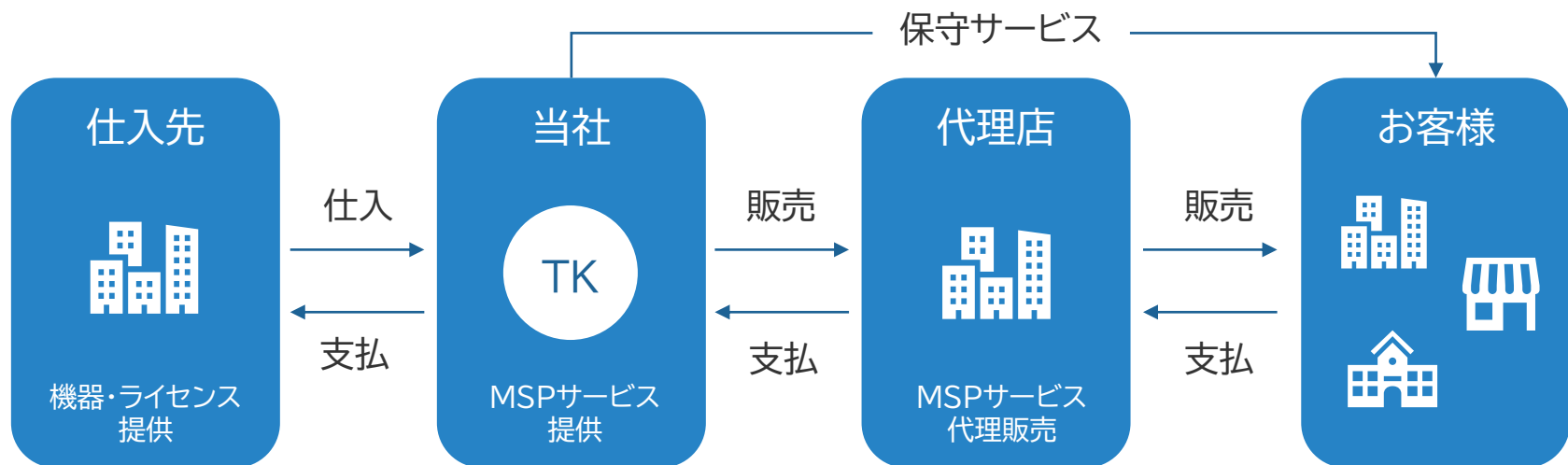
② クラウドサービス
ライセンス料

③ 保守料

(*1) 一部エリアを除く (*2) ① 機器代のみ一括払い可能

MSPサービス概要(2)

MSPサービス ビジネスモデル



■ MSPサービスの活用事例



情報システム部門の人手不足に悩む
中小企業のオフィス



拠点数の多さから管理コストが高い
全国展開の店舗



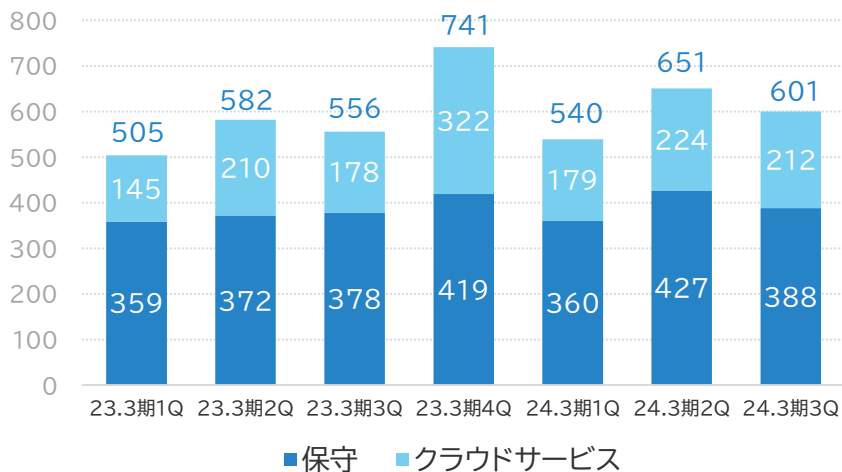
他にも 工場、介護施設、病院、学校 など
様々な場所で使用されています。



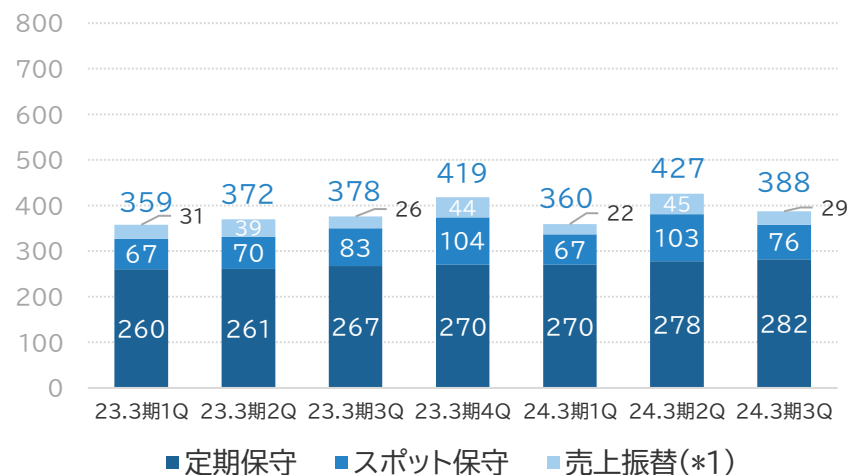
クラウドサービス & サポート売上高内訳(四半期別)

[単位:百万円]

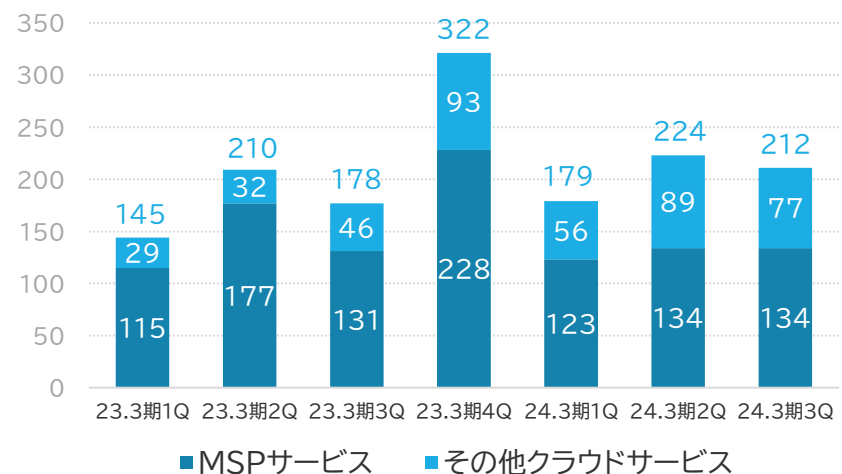
1 クラウドサービス & サポート売上高内訳



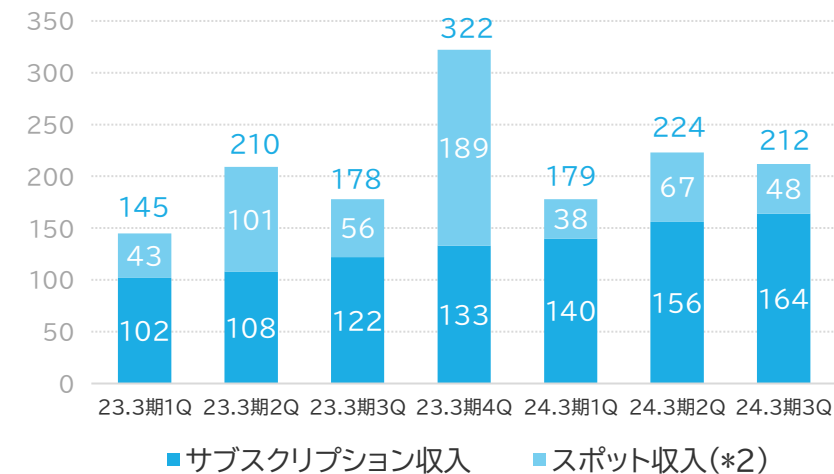
2 保守売上高内訳(形態別)



3 クラウドサービス売上高内訳(サービス別)



4 クラウドサービス売上高内訳(形態別)



(*1)システムセグメント製品の販売初年度の保守を無償で実施している分について、保守原価相当分をクラウドサービス & サポートの売上に振替

(*2)初期費用、MSPサービスの機器代の一括払い分等

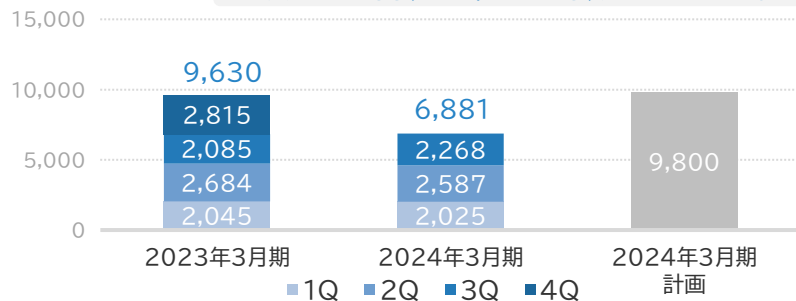
システム・デバイスセグメント実績

[単位:百万円]

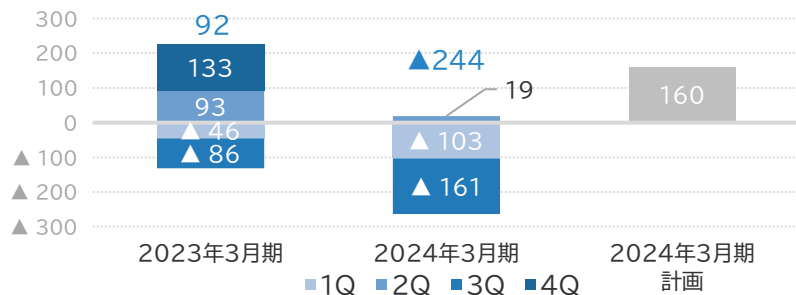
システム

売上高

<3Q期間 10-12月>YoY+182
リテール+33、ビジネス+123、グローバル+26



営業利益

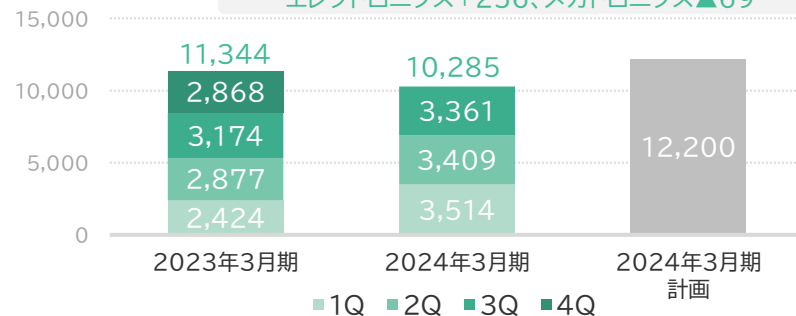


期間	営業利益	増減	増減要因(前年同期比較)
1Q 4-6月	▲103	▲56	ビジネスソリューション減収(△)
2Q 7-9月	19	▲73	グローバル:防火システム減収、追加工事(△) リテールソリューション減収(△)
3Q 10-12月	▲161	▲74	グローバル:防火システム追加工事(△)

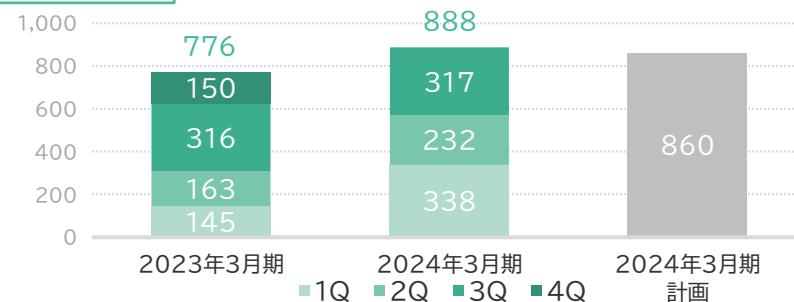
デバイス

売上高

<3Q期間 10-12月>YoY+187
エレクトロニクス+256、メカトロニクス▲69



営業利益

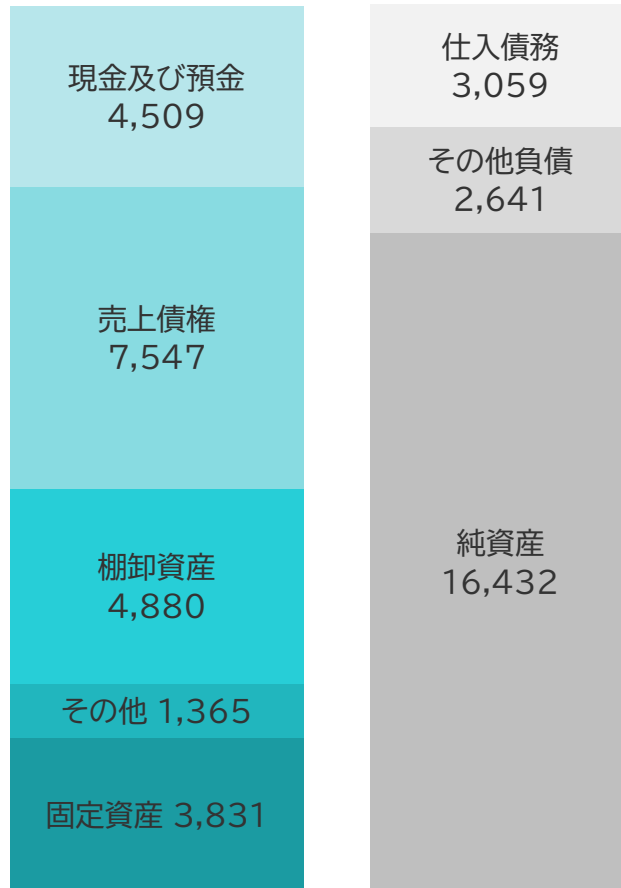


期間	営業利益率	増減	増減要因(前年同期比較)
1Q 4-6月	9.6%	+3.6pt	エレクトロニクス:売上規模拡大(+) 販売ミックス良化(+)
2Q 7-9月	6.8%	+1.1pt	エレクトロニクス:売上規模拡大(+)
3Q 10-12月	9.4%	▲0.6pt	メカトロニクス:高収益案件減少(△)

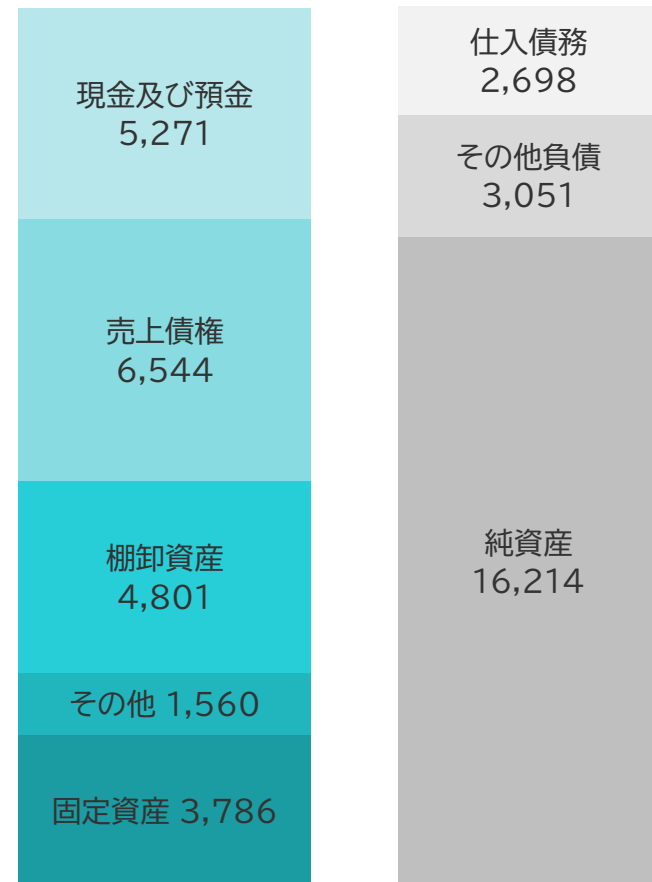
連結BS

[単位:百万円]

2023年3月末



2023年12月末



- ・ 現金及び預金+762・・・売上債権の回収、投資有価証券売却収入等により増加
- ・ 純資産▲217・・・当期純利益+1,021、配当支払▲1,478、その他の包括利益累計額+230

会社概要

会社名	高千穂取引株式会社
証券コード	東証プライム 2676
設立	1952年3月13日
本社所在地	東京都新宿区四谷1-6-1 YOTSUYA TOWER 7F
代表者	代表取締役社長 井出 尊信
従業員数	連結496名、単体243名（2023年3月31日時点）
連結子会社	国内1社、海外8社(上海・香港・バンコク・シンガポール・シカゴ)



■ CEOインタビュー動画公開中



<https://youtu.be/GulpUjGEPHU>

本資料のお取り扱い上のご注意

- 本資料は、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は経営環境の変化などにより、異なる可能性があることにご留意ください。
- 本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

お問い合わせ先

高千穂交易株式会社 経営企画室 IR担当

 ir-takachiho@takachiho-kk.co.jp

 03-3355-1201

